

広島県立広島叡智学園中学校・高等学校 学校運営協議会の会議録

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

| | | | |
|---------|---|------|-----|
| 開催日時 | 令和5年3月6日(月) 14時00分から15時00分まで | 開催場所 | 会議室 |
| 出席委員 | <p>人数：6人 委員氏名(役職) 森下 秀月氏(大崎上島町商工会事務局長) 坪谷ニューエル郁子氏(東京インターナショナルスクール理事長) ※オンライン参加 田頭 吉一氏(国立大学法人鹿児島大学副学長) ※オンライン参加 草原 和博氏(広島大学大学院人間社会科学研究科教授) 比枝 圭介氏(PTA会長) 福島 一彦(校長) 高田 幸典氏(大崎上島町長) ※公務のため欠席</p> | | |
| 会議の概要 | <p>○自己評価シート(年度末評価)の説明 本校から、学校経営計画の項目に従い、国際バカロレア、主体的・対話的で深い学び、寮生活など、本校の教育活動の自己評価について説明を行った。 各委員からは、次のような御質問・御意見をいただいた。</p> <p>○各委員からの発言要旨(御質問) ・DPを本校で初めて実施するに当たり、保護者にどのような説明をしたか。 → 進路について不安を抱く保護者が多い。まずは授業に向かってできることをやっていくように説明をしている。 ・働き方改革については、どのように取組を進めていくのか。 → 働き方改革に関する校内の取組をまとめて共有し、次年度につなげる。</p> <p>(御意見) ・日本国内のIB校に対するサポート体制を強化するため、国際バカロレア機構に担当官を日本に配置するよう依頼している。 ・DPは、大学の教養課程レベルの内容を扱うことを自覚すること。 ・海外への進学については、例えば、ドイツやオランダなど、授業料が安く英語で授業が行われるところを調査し、生徒にきちんと伝えていくこと。また、日本の大学の交換留学制度を利用して留学できることも伝えること。</p> <p>○次年度の取組に係る意見交換 各委員からは、次のような御意見をいただいた。</p> <p>○各委員からの発言要旨(御意見) ・地域で協力できることがあれば、遠慮なく伝えてほしい。 ・失敗を恐れず、色々なことにチャレンジできるカリキュラムを実施していただきたい。 ・保護者は学校からの情報が少ないと感じている。PTAとしても協力したいので、色々な機会でもPTAを活用してほしい。 ・働き方改革との両立は難しいが、教員の専門性を磨いていくことも大切。教科を越えた連携を深めるとともに、例えば、教員全員が修士以上の学位を取得するなど、教科に対する専門性の向上に努めてほしい。 ・短期の留学生を受け入れられる新しい交換留学制度を整備してほしい。また、専門的なことを学びたい生徒には、大学のアドバンスト・プレースメント(早期履修制度)も夏休みなどに活用してもらいたい。</p> <p>○令和5年度「三つの方針」の説明 本校から、令和5年度「三つの方針」について説明を行った。 令和5年度「三つの方針」が、全委員異議なく承認された。</p> <p>以上、委員から貴重な御意見等をいただいた。本校としては、いただいた御意見をもとに、次年度の学校運営に活かしていく所存である。</p> | | |
| 次回開催予定日 | 令和5年7月初旬 | | |

※ 「概要」欄については、協議の経緯は簡潔にし、協議の結果が分かるように記載すること。